

論壇

いやな現象、陰には利点

「民主主義はひどい制度だ。しかし他の制度はもっとひどい」。これはイギリスの首相だったウィンストン・チャーチルの有名な言葉だ。民主主義には、様々ないやなところがある。難しいこともある。しかし、共産主義や独裁など他の制度は、民主主義に比べてもっとはるかに問題点が多い。だから、とりあえずは民主主義を選択するしかない、というのだ。

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

未来なき「反グローバル」

グローバル化に対する批判的見方が垣間見える。「外から移民が入ってくるので自分たちの生活が脅かされる」「海外から安価な商品が入ってくるので、雇用が失われる」といった議論だ。こういう見方をする人が増えているの

だろう。しかし、EU(欧州連合)から

なくなつたらもつと困る」と、と。グローバル化は様々な問題を社会にもたらす。しかし、グローバル化に背を向けることは、もつと多くの問題を社会にもたらす結果になるのだ。

英国での国民投票の結果や、米国のトランプ現象の背景には、

の離脱を選択した英国の国民の多くは、これから大いに後悔することになるだろう。世界でもつともグローバル化が進んでいる国のひとつである英国が内向きの政策をとつたら、英国経済は壊滅的な打撃を受けることになるだろう。現実にも、ロンドンに投入している

歪み是正する対応策を

人員の削減を検討すると、米国系のある金融機関のトップは発言している。英国に出ている日本の自動車や電機の企業も、今後の投資についてより慎重になるかもしれない。

グローバル化はいろいろなやな面を見せているが、同時に見えない利点も多くあるのだ。グローバル化はいろいろなやな面を見せているが、同時に見えない利点も多くあるのだ。グローバル化はいろいろなやな面を見せているが、同時に見えない利点も多くあるのだ。

少なくないだろう。だからグローバル化の流れを抑えるような規制を課す、というのではだめだ。グローバル化に背を向けては日本の経済社会の未来はない。それよりはグローバル化によって生まれうる歪みを是正するような対応策を導入することが必要だ。

たとえば、海外からの低価格の農産品の輸入によって国内の産地が打撃を受ければ、輸入を制限するのではなく、その産地がより高い付加価値を上げられるような高品質化とか他の作物への転換などを支援する政策が必要だ。輸入が増えても輸出を拡大することができれば、それでもよい。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。